

## 2024年度 日本体育大学 東京都保護者会総会・講演会のご案内

下記のとおり「2024年度 東京都保護者会総会」等の開催を予定しています。

本年度も、総会終了後に講演会を企画しています。皆さまの、ご参加をお待ちしています。

なお、講演会は、東京都同窓会との共催となりますが、東京都保護者会総会としての開催ですので、講演会のみの参加および東京都保護者会の会員以外（同窓会会員を除く）の方の参加はご遠慮ください。

### 記

- ① 日 時 2024年 **6月29日** (土) 13:00から (予定)  
(受付12:30より、開会5分前には受付をお済ませください)
- ② 場 所 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス (キャンパス内会場未定)
- ③ 総 会 2023年度 活動・決算報告  
2024年度 活動計画・予算案・役員選出等
- ④ 講演会 講演者「 未定 」
- ⑤ 懇親会 予定しております

- ※ 1 日時および会場、講演会などの詳細については、2024年5月中旬までに案内はがきをお送りする予定です。
- ※ 2 【問合せ先】(Eメールアドレス) nssu.apg.tokyo@gmail.com
- ※ 3 会議室内はエアコンを使用します。必要に応じて上着をご用意ください。
- ※ 4 駐車場の用意がございません。お車での来場はご遠慮ください。

☆当日は、東京都保護者会役員が大学正門付近などで「日本体育大学東京都保護者会」の「のぼり旗」を持ち、ご案内しています。遠慮なくお声掛けください。

## 編集後記

先ず初めに広報誌を発行するにあたって、取材を快く引き受けて下さった関係各所の皆様方にお礼と感謝を申し上げます。沢山のご協力ありがとうございました。広報の作業を行う上で感じた事は全く見ず知らずのメンバーと殆ど経験した事の無い作業を短期間でこなすのは正直大変な事ばかりだったと思います。一言申し上げるとしたら知り合いや友人の方どうして担当した方が意志の疎通がやりやすいと感じました。次年度は是非仲間内で立候補されては如何でしょうか？ …………… (大竹美奈子 1年保護者)

私は今年度娘が入学させて頂いたご縁で東京都保護者会に参加させて頂きました。アンケートや、部活取材を通してたくさんの学生の皆さまとふれあうことが出来とても楽しい時間でした。全員が未経験者でしたのでつたない部分もありますが、力を合わせて作りあげました。取材、アンケートにご協力いただいた学生の皆さん、本当にありがとうございました。寄稿してくださった皆様、心より感謝申し上げます。 …………… (古川光子 1年保護者)

未経験の私が、明るく頼もしい広報メンバーのおかげで、楽しく制作に協力する事ができました。取材にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。そして今後とも東京都保護者会へのご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。 …………… (佐藤まどか 2年保護者)

卒業してから数十年が経ち、保護者の立場で日体大に戻ってくるとは思っていなかった私ですが、息子が3年の秋、健志台キャンパスツアーを機に保護者会の一員となりました。あの頃とはすっかり様子の違う我が母校。講演の先生、はたまた取材で訪れた相撲部の監督が同級生だったり懐かしさが広がります。もっと早く保護者会に参加し、もっともっと学生たちと接し、真の「オール日体サポーター」となれば良かったと少し後悔が残りますが、広報担当で貴重な経験が出来たことは私の宝になるでしょう。ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。 …………… (土田涼子 4年保護者)

広報誌担当顧問として動き出したのが夏頃でした。会議に初めて参加した時は全く進んでいない状態でかなり驚きです。しかし、その後の広報担当の加速は素晴らしかったですね。この度、広報誌完成したこと、とても嬉しいです。 … (島田敦史 顧問)



東京都 Nippon Sport Science University

2024.3.1

vol. 35

# 東京都保護者会報

発行 者 ● 日本体育大学東京都保護者会  
お問 合せ 先 ● nssu.apg.tokyo@gmail.com  
タイトルロゴ ● 越水 春汀

- 学長挨拶「これからの日体大」
- 会長挨拶「東京都保護者会の皆様へ」
- 保護者会活動紹介
- 第60回体育研究発表実演会in横浜アリーナ
- 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走



### 部活動紹介

ラクロス部男子  
トランポリン部  
「強く、優しく、美しく」ボディビル部  
ソングリーディング部  
体操部  
ラグビー部女子【UNICORNS】  
相撲部



- 就活虎の巻
- 日体大生に聞きました！





学校法人 日本体育大学 学長

石井 隆憲

# 学長挨拶

## これからの日体大

保護者会の皆様におかれましては、平素より日本体育大学の発展のために、多大なご協力とご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、前回の令和3年度に書かせていただいた原稿では大学の新しいイメージ戦略の必要性について紹介させていただきました。それから2年が経過したところですが、この間、大学の在り方にも新たな展開がありました。今回は、こうした大学の変化について紹介していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった3年の間に、様々な形で社会が変化しましたが、それらの変化は大学にも大きな影響を与えることになりました。最も大きな変化は、大学入学試験の考え方とその在り方です。国立大学においてもその変化が確認されているようですが、日本の私立大学の多くが、入試の在り方を再考するようになりました。コロナ前の大学入試は、年明けの2月に行われる「一般選抜」で入学定員の半数以上を選抜していました。しかし、コロナを経験することで年内に行われている「総合型選抜」「学校推薦型選抜」が重要視されるようになりました。

こうした背景には、受験生の動向が大きく影響しています。コロナ禍による社会不安や経済の不安定さから、受験生の地元志向や年内入試での早期合格志向が強まっています。

さらに2023年8月に日本私立学校振興・共済事業団は、2023年度の「私立大学・短期大学等入学志願動向」を公表しました。この資料によると、事業団が集計した600の私立大学のうち、定員割れした大学は過去最多の53.3%、320校あり、小規模な大学や都心から離れている大学は入学定員を100%集めることが非常に難しい状況になっていることがわかりました。このような傾向はこの数年、顕著に表れており、中には募集を停止する大学の報道もあり、私立大学においては、直接少子化の影響を強く感じるようになりました。こうした状況もあって、多くの私立大学が年内に行われる「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」の入試区分で受験生を獲得する形へとシフトすることになりました。

このような変化は、大学における教育の在り方にも変化をもたらしつつあります。従来は選抜して入学してきた学生を「鍛える」という形でしたが、現在では入学してきた学生を「育てる」という発想に変わってきています。「鍛える」とこと「育てる」

ことは、一見すると同じベクトルを持つものですが、そのプロセスは大きく異なります。私の学生時代は、練習を繰り返すことで、心身に技術と精神を叩き込んでいくという教育でした。つまり、「鍛える」という構図です。しかし、現代社会においては、学生の成長を促し、その能力を引き出していくことに主眼が置かれます。つまり、一人前に「育てる」というわけです。

学生一人一人と対峙して育てるということは、一人一人の多様性を認めていくということにもつながっていきます。近代教育が生み出した国民的同一性は、国家や民族を一括りにする思考を持ち込むことになりました。「日本人」や「アメリカ人」といった括り方は、国籍のことを言うのであれば、ある程度正しいのかもしれませんが、これを一つの同一性を持つ集団とするには無理がありそうです。しかし、義務教育を行うことで、すべての国民が同一性を持ち、また鍛え上げることで、その同一性がより強固なものになると考えられてきました。これは近代社会が作り上げてきた「単一栽培の思考」と呼ばれるものです。本学では、画一的で硬直化した教育の在り方を見直し、現代社会に即して多様性を持つとともに弾力的な対応を行うことで、学生一人一人に寄り添った教育が可能になると考えています。

こうした手始めの一環として、高大連携事業を本格的に推進していく予定です。まずは、本法人が設置している高等学校との連携を図り、大学入学後の学びにスムーズに移行できるようなシステム作りを計画しています。さらに、こうしたシステムが確立すれば、それを少しずつ広げていくことで、新しい大学の在り方を実現していくことが可能ではないかと考えています。言うまでもなく、日本体育大学は体育やスポーツを中核に据えた大学です。そして体育やスポーツの関わり方は、日々、拡大しています。そうした関わり方を一つ一つ取り出し、それを学問の俎上に載せたり、実践の場として焦点化することで新しい学びを形成していこうとしています。そうした意味では、これからまだまだ、その専門性は多様化するのではなかと考えています。

先を見通すことのできない時代の中で、大学も常に変化し続けています。様々な試みについては、機会があるごとに発信していきたいと思いますので、引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

# 会長挨拶

## 東京都保護者会の皆様へ

日本体育大学東京都保護者会 会長

高橋 良尚



東京都保護者会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、保護者会の活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度、日本体育大学東京都保護者会の会長、そして本部保護者会関東ブロック代議員を務めさせていただいております、高橋良尚と申します。

私と東京都保護者会との出会いは、7年前にさかのぼります。保護者会からの案内に従って、支部総会と懇親会に参加したところ、保護者会役員会への誘いを受けました。ご縁があると思い役員会へ参加することをお受けし、今まで、キャンパス見学会・監査・会計を務め、娘の卒業と同時に私も保護者会を卒業する予定でおりましたが、娘と3歳離れた息子も日本体育大学に入学したことで、保護者会の活動を続けることになり、現在に至っております。役員の一人となったことで、先生方と直接お話をする機会や、我が子の成績表の見方を得ることなどができました。

保護者会では、保護者を対象としたキャンパス見学会や講演会の企画運営、広報誌の作成などの活動があり、月に1回役員会を大学構内で開催しております。

今年度は、本部保護者会関東ブロック代表者会（令和5年度に限り東京都保護者会が主催する一都七県の支部正副会長会議）や支部会長連絡協議会（全国の支部会長会議）にも参加し、情報交換を行うことで東京都保護者会としての力をつけることが出来ました。

私の任期も残り3カ月余りとなりました。保護者の皆様、そして役員の皆様のご協力のお陰で、ここまで務めることができました。これからも、皆様のお力をお借りし、保護者の皆様に大学の情報が届くと同時に、保護者の皆様の声を大学に届け、その事により、本学生の充実した学びの場をサポートできる保護者会であるよう、務めていきたいと思っています。

今年度は、焼けつく猛暑であり、師走でもコート要らずの暖冬と、季節の節目が無くなりそうなこの頃ですが、どうぞ皆様ご自愛ください。

## 保護者会活動紹介



鮫島 光恵（3年保護者）

ここでは日々どのような活動をしているのかについてご紹介します。

|         |                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 役員会     | 月に1～2回開催されます。キャンパス見学、会報誌発行、定期総会の準備に向けた打合せを行っています。                                                                             |
| キャンパス見学 | 学生たちがどのような環境下で学んでいるかを保護者の方々にも知っていただく機会として実施しています。<br>1年ごとに世田谷キャンパスと健志台キャンパスを交互に行っており、日体大を身近に感じて頂ける様、学食体験、キャリア支援講演なども実施しております。 |
| 応援      | 各部活動の応援に参加し、その競技の魅力を味わいます。<br>箱根駅伝は大手町のスタートを応援した後、箱根まで応援団、チアリーディングと共にバスで移動し、選手の到着を待ちます。                                       |
| その他行事   | 日体フェスティバル・体育研究発表実演会・体操部演技発表会等への参加、観覧を行います。                                                                                    |
| 定期会報の発行 | 毎年3月に定期会報発行しています。各イベント参加に関し、役員記事を作成しています。                                                                                     |
| 定期総会    | 毎年6月に1年間の活動を締めくくる定期総会を開催しています。1年間の活動報告、会計報告を行います。<br>同時開催で日体大にゆかりのある方の後援会も開催します。                                              |

このような活動を通じ、学生たちの健全な育成の為、大学と保護者、保護者同士の交流と親睦を深めることを目的に活動しています。

## 第60回体育研究発表実演会in横浜アリーナ



福本 記子 (3年保護者)

私は今回、日体大の体育研究発表実演会を初めて拝見させていただきました。会場となった横浜アリーナに、実演会を楽しみに来られた1万人ほどの観客が押し寄せている様子に圧倒されました。実演会では、日体大伝統の応援スタイル「エッサッサ」から「集団行動」まで、それはそれは素晴らしい演技に魅了されました。

ひとつひとつの演技が始まり、盛り上がる見どころでは拍手と歓声が湧き上がり、終わるとさらに拍手が惜しみなく贈られていました。

今回は「Power of Sports」をテーマに各団体から、若さ溢れる演技が披露され、元気と勇気をもらいました。

松浪健四郎理事長からのメッセージにございましたが、「エッサッサ」と「集団行動」は日体大の伝統が継承されている名物であります。

「健康美」と「集団美」を表現し、私も実際、その素晴らしい演技に吸い込まれるようでした。

日頃、一生懸命練習に取り組まれた学生の皆様と、その指導にあたられた教職員の方々に披露していただいたエネルギー溢れる演技にとっても感動させて頂きました。そしてこれからも、我々観客を魅了する体育研究発表実演会の開催が未長く続き、心を揺るがしてくれることを期待し、心より応援し続けたいと思っています。



## 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走



寺内 正人 (3年保護者)

2023年10月14日にコスモス咲く秋晴れの国営昭和記念公園にて、第100回箱根駅伝2024予選会が開催されました。

東京都保護者会では朝8時にJR立川駅で待ち合わせ、駅伝チームの予選突破のため日体大校旗を手に取り、熱い応援を届けようと会場に向かった。今回は4年ぶりの通常開催で応援もコロナ前に戻り、既にスタート地点は関係者で大混雑。出場校応援のため多数の校旗が振られ、賑やかな応援風景だ。レースが始まると日体大の集団で走る戦略は10km地点で20位あたりで「大丈夫か？頑張れ！」と少し心配に……。まず、留学生中心のトップ集団が通過し、追うように多くの選手が通過していく中、「日体大の集団はどこだ？」と気持ちが焦る。しかし、そこから選手たちがチームワークを発揮！

終盤徐々に追い上げ、見事に連続76回目の出場権を獲得してくれました。そして、主催者よりTVニュースでおなじみの成績発表が広場にて行われ「第4位 日本体育大学～」とアナウンスされた時、盛大な拍手と大歓声！その後の報告会では玉城監督や漆畑キャプテンの挨拶、全員での写真撮影もあり、会場は和やかな雰囲気での楽しい1日でした。

2024年1月2日と3日に第100回箱根駅伝が開催されました。2日は保護者会で1区大手町応援団ポイントに集まり、応援団と一緒に選手を応援。

往路では日体大は最下位と出遅れ苦戦したが、選手たちは諦めず走り続けた。最後は5区選手の山登りにて2つ順位を上げ21位でゴール！更に中継アナウンサーより「彼は卒業後は教師になる」との紹介もあり、良い体育の先生になりそうと微笑ましく感じた。

3日の復路も保護者会では10区ゴール付近の応援団ポイントに集まり応援団と一緒に応援。レースは往路の挽回をしようと、選手たちは我慢強く走る。

8区で区間2位となる健闘を見せ、10区も区間6位と快走、総合16位と大きく順位を上げた。復路の選手は2年生と3年生が多く、来年はシード権を狙えそうな予感のする走りを楽しみである。東京都保護者会の皆様、来年も一緒に日体大の応援に行きましょう！！



## ラクロス部男子



吉川 光子 (1年保護者)

「23NITTAI」HEROというスローガンを掲げ、1部最下位から8年ぶりの日本一の栄光を掴み取るために日々厳しい練習をしている男子ラクロス部。スポーツマンらしくかっこいい集団＝歴史を創る集団。まさにこの言葉がぴったりである。

HEROそれは誰かに憧れられたり、勇気を与える人。試合に出ている選手だけがヒーローではなくスタッフ、マネージャー、そしてスタンドの応援部員たち全員がまさにヒーローそのものだった。毎試合素晴らしいドラマが生まれてとてつもない感動をもらった。

全日本大学選手権優勝 日本体育大学ラクロス部史上初、女子ラクロス部と共にアベック優勝をはたす。



「主将の内容です。今年度は“HERO”というスローガンのもと一人一人が自分と向き合い、“誰かのために”を合言葉に活動して参りました。日々支えてくださる多くの方々に感謝の気持ちを持ち、今日も誰かのために闘い続けます。」



部員80名 / 創部1992年

試合結果

- 予選リーグ 5勝全勝
- 関東準決勝 vs東大 スコア6-5 (サドンデス1-0)
- 関東大会決勝 vs法政 スコア4-3 (サドンデス1-0)
- 全国大会1回戦 vs北海学園 スコア9-1
- 全国大会準決勝 vs南山大学 スコア6-3
- 全国大会決勝 vs法政 スコア5-3



## トランポリン部



広 報

『かしゅ〜ん、がしゅ〜ん』とスプリングが軋む音を響かせながら、7〜8mにも及ぶ高さでのダイナミックで繊細な飛躍に目を奪われ、姿を追って見上げるだけで倒れそうになる。

彼らは空中にいる間、どんな事を考えているのだろう？答えは意外にも「何も考えていない」との事だ。

その状態で数分間演技が出来るという事は、どれだけの練習を重ね、ひとつひとつの技を身体に染み込ませたのかが伺える。

部員のひとりにいつから競技を始めたか尋ねてみると、なんと幼稚園の年中からと答えが返ってきた。

きっと彼等全員が遊園地のどのアトラクションよりもスリリングな体験をしているのであろう。

しかし、ケガをした時の技をする時は、さすがに頭をよぎり恐怖が襲ってくるそうだ。

採点方法は技の難しさ「難易

度」、出来栄を示す「演技点」、台の中心で跳べたかを示す「移動点」、滞空時間の長さを示す「跳躍時間」の4つの合計で採点される。

大会の決勝では予選の結果が反映されないため、一発逆転を狙える所も楽しみの一つだ。地上からは決して想像出来ない彼らの動きから目が離せない。



## 「強く、優しく、美しく」ボディビル部



石山 和歌子 (3年保護者)

筋肉のクオリティと肉体美を競い合うボディビルとメンズフィジーク。心身の美しさという美学を持った学生が、本学ボディビル部に集います。その部の集大成とも言える「全日本学生ボディビル選手権大会」が2023年9月末、埼玉県深谷市文化会館で開催されました。ボディビルの部は団体戦優勝、胸・モストマスキュラーの部分賞を奪取。

フィジークの部は団体戦2位、176cm以下級とオーバー



オールで優勝を獲得。青いユニフォームに刻み込まれたボディビル部のモットーは「強く、優しく、美しく」。強靱な心の持ち主にしか強い肉体は宿りません。一瞬のステージにかける熱き思いと、語りきれない苦悩の連続。常に挑戦し続けるその姿を、私たちは応援しています。



## ソングリーディング部



広 報

皆さん、ソングリーディング部をご存知ですか？あまり聞き慣れないと思いますが、今回現役で活躍されている主将、副主将3名に徹底解説してもらいました。

Q1.ソングリーディングってどんな競技なの？

A1.ポンを使ったアームモーションを基本とし、ジャンプやターン等の技を組み合わせ、技の完成度とチームでの一糸乱れぬ動きを魅せる競技です。ポンポンなどの手具を使いながら華やかなダンスで皆さんに楽しんでもらいます。

大会によって審査基準が異なり、指先、足元フォーメーションが統一されているかが重要なものや、いかに観客にパッションが届いているか等がジャッジされます。

【2023年大会実績】

8月20日 USA summer competitios pon部門

大学生 Advance small編成 第1位

JCDA final championship Pom部門

大学生 small編成 LAURELS第4位 GENESIS第5位

Q2.どんな練習をしているの？

A2.普段の練習はA・Bチームに分かれて基礎動作を徹底し、その後両チーム合同で全体の流れを合わせて練習します。

(※A・Bチームは状態によって年2回入れ替り有) また、自分達の試合がない時にはラクロス部、サッカー部、陸上ホッケー部の応援にも行きます。

大会は基本的に冬に行われますが、昨年初の試みで夏の大

会にもエントリーし、その大会でのパフォーマンスが認められ2月17・18日 アメリカアナハイムで開催される「USA Collegiate Championships 2024」への推薦チームに選ばれました。

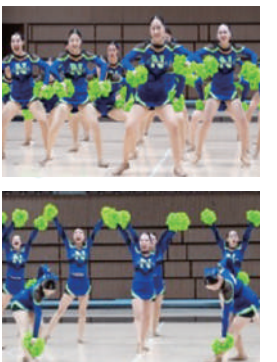
Q3.今後の目標は何ですか？

A3.主将 山東奈々美さん ▶『頑張っているのを知っているからこそ、本番で仲間を信じ合い、良いパフォーマンスが出来る部員全員が私の誇り。皆さんに愛され続けるチームをつくりたい』

副主将 磯野あゆめさん ▶『積極的にSNSやボランティア活動に参加し、チアダンスの普及活動を行いたい』

副主将 武井結月さん ▶『大会で戦績を残して学内で部の認識を広めて後輩部員を増やしたい』

こんな清々しく全力な彼女たちの熱いパッションを皆さんも肌で感じませんか？



## 体操部



藤井 初美 (2年保護者)

11月24日(金)体操部第55回演技発表会が行われました。4年ぶりの通常開催となり、ゲストに国士舘大学男子新体操部、自由学園最高学部有志、海外ゲストのMATRIX SHOWTEAM。そして日体大のトランポリン部、ソングリーディング部の参加で発表会が盛りあがっていました。体操部の演技はしなやかな動き、激しく力強い動き、すべての演技が素晴らしくラストの「GIM-MIX」では「結び」というテーマで一人ひとりがとても輝いていて生き生きと熱い演技を発表してくれました。

観客席からは一つひとつの演技に歓声があがり盛大な拍手が送られていて正にみんなの心が結ばれた時間でした。感動をありがとう。さらなる飛躍を期待しています。

### 三宅先生コメント

今年も発表会を無事に開催できましたこと関係者の皆様に暑く御礼申し上げます。体操部では部員らに体操を通じた人間教育をしておりますが、演技発表会にて多くの声援と拍手で応援いただけたことは彼らを育てる大きな力となりました。有難うございました。



## ラグビー部女子【UNICORNS】



松田 由美子 (4年保護者)

我がUNICORNSは、第9回全国女子ラグビーフットボール選手権大会準優勝(15人制)、太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2023総合2位という結果を残しています。大学では2012年以降、6校の大学で女子ラグビー部が創設されていますが、大会の上位に上がってくるのは、外国人を含むシニアで構成されたクラブチームです。UNICORNSからもオリ

ンピック競技である7人制に加え、2022年ニュージーランドで行われたWorld Cupにも出場しています。国内で秋は15人制、春は7人制、どなたでも試合観戦可能です。

女子ラグビー 熱いよ! 観に行っちゃう? 以前のFacebookに加え、2023年春からは、InstagramやX(旧:Twitter)でも情報発信しております。



Photo by : Noriyuki Zenba



Photo by : Noriyuki Zenba

## 相撲部



土田 涼子 (4年保護者)

今から遡ること30数年前の校舎にはテニスコートの隣に相撲の土俵があった。

とてつもなく長く、少しくすんだ生成り色の『アレ』がコートの回りを埋め尽くし、風向きによっては香りが運ばれてくる。現役時代の私は何とも恥ずかしく「アレ」を直視できなかった。

私にとって甘く酸っぱい思い出の相撲部は、今年創部97年の歴史を持ちアマチュア競技としての相撲を支えている。

全国学生相撲選手権(インカレ)の団体戦で7回の優勝を誇り、学生横綱を7人輩出し、大相撲では多くの卒業生が幕内力士として土俵を沸かせている。

冬も深まったある日、実際に稽古を見せてもらうことになった。まだひんやりと冷たい道場では、早くも体から湯気をだす選手たち。

しかし、監督が到着するとそこには先程とは違う、ぴ〜んと張り詰めたものが流れ、より一層肌寒さを感じる。

まず部員全員で神棚に祈祷し稽古が始まる。土俵は横一列に3つ並び、レギュラー、準レギュラー、軽量級に分かれて練習を行う。

しばらく無言のまま鋭い視線を送っていたかと思いきや、「課題を持って稽古しろ!!」と一喝で静寂を破る。

肉塊と肉塊のぶつかり合いは時にぞっとする音を響かせ、

身体からは汗が滲み、湯気がゆらゆらと立ち上がる。

ずいぶんと時間が経ったころ、土俵の周りから一人減り、また一人減り……。そして最後の一番が終わりそれぞれ充実した顔つきで稽古は終わった。

土俵の上にはゴザが敷かれ、ちゃんこ、おかずの数々が並びちょっとした定食屋に早変わり。

どれも学生が作る料理の域を超え、とてもおいしく頂いていた傍らには、あの神々しい「アレ」を短パンに履き替えた、ごく普通の若者たちがいるのだった。

「感謝の気持ちを忘れないで、誇りを持って生きてもらいたい」と願う監督の思いは確実に彼らに伝わっているだろう。



# 就活虎の巻

水野 遥香 みずの はるか

小学校教諭

私は大学推薦で教員採用試験を受験しました。

大学推薦は学校の成績をある程度取っていて大学での面接に合格した1、2人が利用することが出来ます。

この大学推薦で受験することが出来ると地域によっては一次試験免除や一科目免除になる為、部活で思うように勉強時間が取れなかった私にとっていいチャンスだと思い利用することにしました。私は教員採用試験の勉強を始めたのが3月ごろで周りよりも遅かった為、毎日8時間は勉強してました。部活や大学の授業と勉強の両立はとても大変だったので、もっと早めに始めればよかったと後悔しています。

これから受験を考えている方は3年生の夏頃にまずは希望自治体の過去問分析から始めてみるといいかなと思います！



北島 玲 きたじま りょう

小学校教諭

私の教員採用試験対策は2月に始まりました。

初めに手を付けたのは、論文です。学生支援センターの教育採用個人相談ブースを活用しました。過去に出題された題材を書き、添削して貰い、書き直す作業を繰り返して行いました。

専門教養は範囲が広いですが、やるしかありません、頑張ってください！

教職教養は大学の講義で取り扱ったものが多かった印象です。

教職教養、専門教養どちらも試験の傾向を掴むことが大事です。どのようなところが出題されやすいのか確認し、勉強の計画を立てることをおすすめします！！



林 時暉 はやし とときあき

一般企業

私の就職活動について紹介します。私は3年の5月頃に自己分析をして、志望業界を金融に絞りました。夏休みは、興味のある企業の選考を受けてインターンシップに参加しました。また部活動などの合間時間にTOEICやFP技能士等の勉強を行い、自分の付加価値を創出する努力をしました。

その後は同業他社の会社説明会やオンラインインターンシップ等に参加

して、自分なりに企業の差別化を行い、本選考の準備を進めました。最後は選考を楽しむだけです。就職活動は、自分の価値を見出す大切な機会です。自分が活かしたい、広げたいと思う価値と合致する企業を見つけください。



吉澤 柚衣 よしざわ ゆい

警視庁

私はライフセービングの活動を通じて、命を救う活動を続けてきました。

その経験を活かし、人の安全と暮らしを守る職業である警察官になりたいと考えました。

その為に、学内で開かれる公務員講座を受講し、学習を進めました。また、学習支援センターで

は小論文の添削や面接練習をして頂きました。

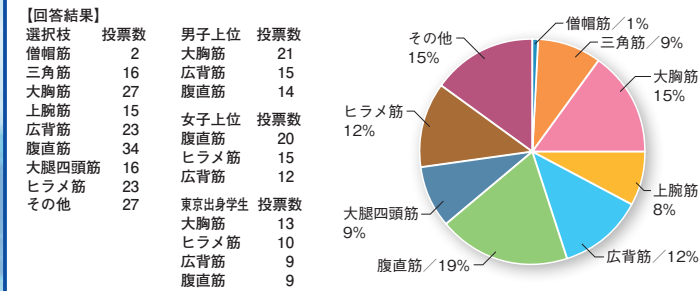
部活動との両立はとても難しかったですが、時間を決めることで、効率性を高めることが出来ました。



とある陽気のいい昼下がり世田谷キャンパスで

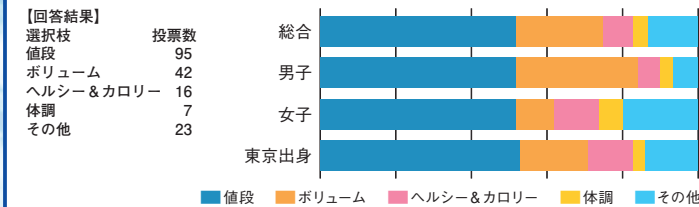
## 日体大生に聞きました！

Q あなた自身もしくは人の身体の中でどの筋肉が好きか教えてください。

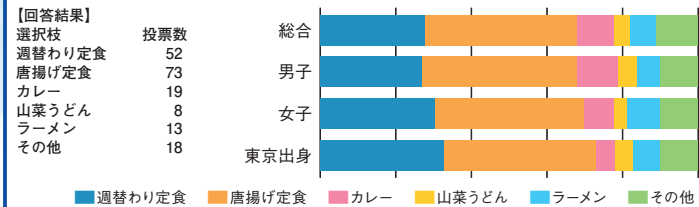


1位は胸の筋肉の大胸筋、2位が腹直筋いわゆる腹筋、以降はふくらはぎのヒラメ筋、背中肩甲骨付近の広背筋と続きます。胸筋は女子に人気の筋肉かと思いきや、シックスパット腹筋の方が人気があるようです。女子のその他に「胸鎖乳突筋」が票を集めていました。「きょうさにゆうとつきん」と読むようですが頭の裏から鎖骨につながる筋肉で鍛えると肩こりにいいとか小顔になるといい話も。。。

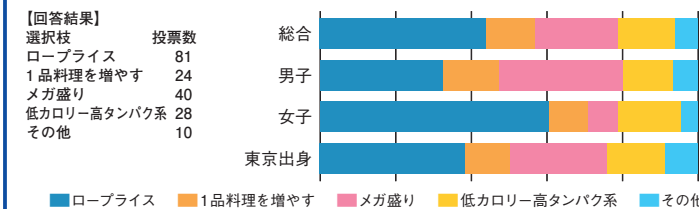
Q 学食でのランチメニューはどのように決めているか教えてください。



Q 学食の好きなメニューを教えてください。

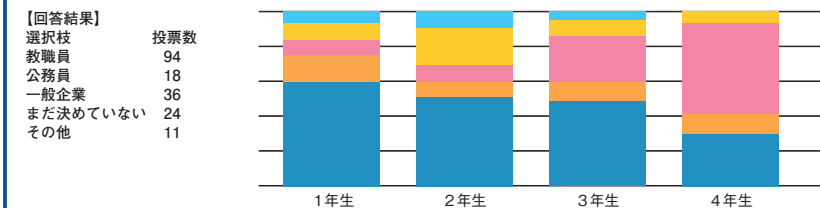


Q 学食に望むことを教えてください。



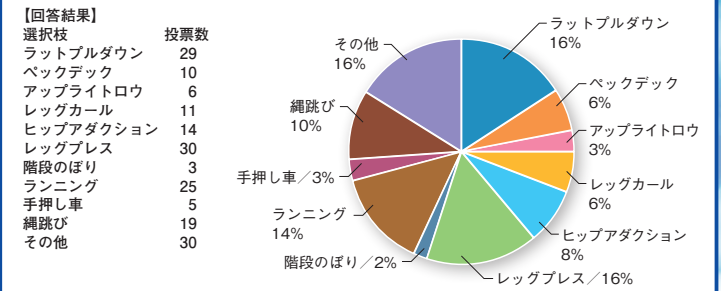
学食についてはやはり値段重視ですね。生姜焼き・カツ丼・うどん・そば、さらにロープライスを望む声が多いので割安感はないようです。学食の好きなメニューのその他の回答をでは生姜焼き、カツ丼、そばくらいしかなかったので学食は選択肢は少ないようです。

Q 将来希望している職業を教えてください。



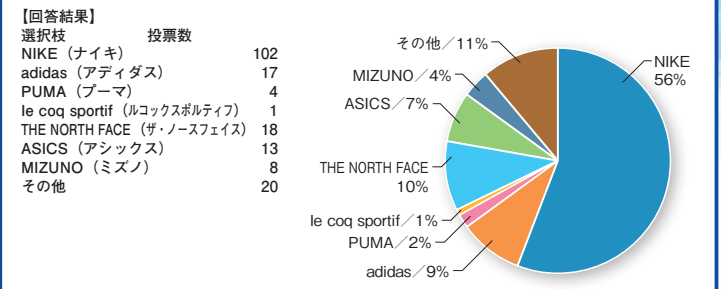
昨年11月下旬、世田谷キャンパス学食にてアンケートを実施しました。気持ちよくご回答いただいた約200人の学生さん、ありがとうございました。

Q お気に入りのトレーニング器具またはトレーニング方法を教えてください。

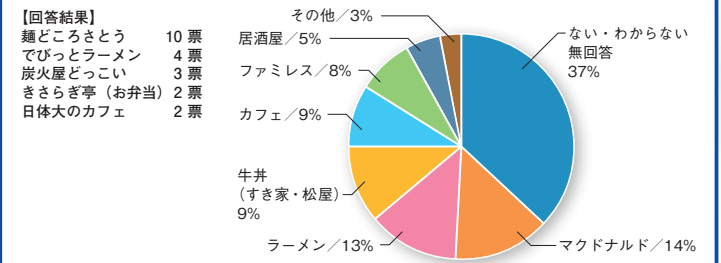


筋肉人気は胸筋、腹筋、背中の筋肉と上半身に集中しましたが、トレーニングは下半身中心に票が集まりました。1位のレッグプレスは荷重のかかったプレートで足を押し上げるトレーニング器具。おしりや太ももなど大きな筋肉やふくらはぎのヒラメ筋の強化ができるようです。好きな筋肉は胸筋、腹筋など上半身の筋肉が上位でしたが、実際のトレーニングは下半身重視みたいですね。さすが日体大生。

Q お気に入りのメーカー（ユニフォーム以外）を教えてください。



Q 桜新町であなたの鉄板外食店を教えてください。（記入式）



この項目以外のアンケートはみなさん回答してもらっていましたが、「ない・わからない・無回答」が圧倒多数。ラーメンを除き、その他の回答も誰もが知っているチェーン店系がほとんど。チェーン店系以外で2票以上集めたお店は麺どころさとう10票、でびっとラーメン4票、炭火屋どっこい3票、きさらぎ亭 (お弁当) 2票、日体大のカフェ 2票。保護者の方が世田谷キャンパスに来る際のおすすめのお店を紹介しようかとアンケート項目に入れたのですが、自信をもってご紹介できるお店ありませんでした。

